【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第５区分
【発行日】平成19年6月28日(2007.6.28)

【公表番号】特表2002-544029(P2002-544029A)
【公表日】平成14年12月24日(2002.12.24)
【出願番号】特願2000-616278(P2000-616278)
【国際特許分類】
Ｂ６０Ｃ　5/14　(2006.01)
Ｂ６０Ｃ　1/00　(2006.01)
Ｃ０８Ｋ　5/098　(2006.01)
Ｃ０８Ｌ　21/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ６０Ｃ　5/14　ＺＢＰＡ
Ｂ６０Ｃ　1/00　Ｃ
Ｃ０８Ｋ　5/098
Ｃ０８Ｌ　21/00

【手続補正書】
【提出日】平成19年4月25日(2007.4.25)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】ゴム製品であって、少なくとも１つの感応帯及び前記製品に対する外部酸素を捕捉し、前記又は各々の感応帯を酸化から保護する為に設けられた、ゴム組成物により構成された少なくとも１つの緩衝帯を含むタイプであり、前記ゴム組成物が、一般式$C_nH_{2n}O_2$（式中、ｎは２～５である）を有するカルボン酸の鉄（ＩＩＩ）塩を含むことを特徴とするゴム製品。
【請求項２】前記塩が、鉄（ＩＩＩ）アセテートである、請求項１記載のゴム製品。
【請求項３】前記塩が、鉄（ＩＩＩ）ペンタノエートである、請求項１記載のゴム製品。
【請求項４】前記ゴム組成物中の前記鉄（ＩＩＩ）塩の量が、鉄当量の０．０１～０．０３質量％の範囲である、請求項１～３の何れか一項に記載のゴム製品。
【請求項５】前記ゴム組成物が、天然ゴム又は合成ポリイソプレンからなる請求項１～４のいずれか１項記載のゴム製品。
【請求項６】請求項１～５のいずれか１項記載のゴム製品の製造方法であって、前記又は各々の緩衝帯の製造が、機械的作業によって、前記塩（ＩＩＩ）を、前記緩衝帯の前記ゴム組成物を構成するエラストマーに配合する工程を含むことを特徴とする方法。
【請求項７】前記鉄（ＩＩＩ）塩を、前記組成物の補強のために前記強化充填材を配合すると同時に配合する請求項６記載の方法。
【請求項８】請求項１～５のいずれか１項記載のゴム製品によって構成されるタイヤカバー。
【請求項９】内部カレンダーゴム、１つのビードワイヤーから他方のビードワイヤーに伸びるカーカスプライ、クラウンプライ、少なくとも１つのビードワイヤーから成るビードで終了している側壁及びトレッドを含む請求項８記載のタイヤカバーであって、前記緩衝帯又は前記緩衝帯の少なくとも１つが、以下の位置：
前記内部カレンダーゴムの内側に放射状に、前記カレンダーゴムと前記カーカスプライとの間、前記カーカスプライと前記クラウンプライとの間、前記クラウンプライと前記トレ

ッドとの間、前記カーカスプライと前記側壁との間、前記側壁の内側或いは外側及び／又は前記トレッドの内側又は外側、
の少なくとも１つを占めるタイヤカバー。
【請求項１０】前記緩衝帯又は少なくとも１つの前記緩衝帯が、前記内部カレンダーゴムと前記カーカスプライとの間に提供される請求項９記載のタイヤカバー。
【請求項１１】大型車両の装置に好適な請求項１０記載のタイヤカバー。
【請求項１２】少なくとも１つのゴムをベースとする感応帯の酸化からの保護方法であって、少なくとも１つのゴムをベースとしてかつ前記製品に対する外部酸素を捕捉し、前記又は各々の感応帯を保護するために提供される緩衝帯を提供し、前記ゴムが、一般式$C_nH_{2n}O_2$（式中、ｎは２～５である）を有するカルボン酸の鉄（ＩＩＩ）塩を含むことを特徴とする方法。